

## 株式会社 松屋 2021年8月上報告

## 1. 店舗別 売上高概況 (単位: %)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-5.7	-15.9
② 銀座店	-8.5	-17.0
③ 浅草店	26.5	-14.5

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

## 2. 売上高対前年増減率推移 (単位: %)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
銀座本店	-36.6	-12.6	-26.3	-26.7	-43.8	-13.5	44.4	575.3	421.4	4.7	8.6	-5.7
松屋銀座	-37.9	-13.2	-28.6	-27.8	-45.7	-14.3	43.4	573.2	361.8	2.8	8.9	-8.5
松屋浅草	-13.0	-3.7	2.8	-12.2	-13.6	-1.9	57.2	600.4	*	24.3	5.1	26.5

## 3. 店舗別商況

銀座店	8月の銀座本店は、月初に一都三県に緊急事態宣言が発出されたことによる来街者の減少等に加え、前年の同月(第1回目の緊急事態宣言が解除された以降、緩やかな回復基調にあった)の営業条件の差異等も要因となり、売上高は前年に対して5.7%減となりました(土日祝前年対比▲1日の影響度合いは、約2%減)。一方では、銀座店の強みとなるラグジュアリーブランドの売上は僅かに前年を下回る結果にとどまる等、引き続き、富裕層を軸に高品質の海外ブランドへの強いニーズがあると思われます。また、外商部門においては、金製品やテレビ通販、企画品等の各種提案において売上高が約1.5倍の伸びを示す等、館全体を牽引しました。なお、都の要請を受け、混雑時には食品フロアや8階イベントスクエアの人流を抑えるべく入店制限を実施しておりますが、これによる大きな売上高の減少等はほぼありませんでした。一方で、新型コロナウイルス感染症の収束とインバウンドの回復が見通せない状況が続く中、今後も、ハウスカードホルダーや外商顧客等のアプローチを強化による安定的な売上確保と、店頭においては各種オケージョンを利用した各種施策を推し進めることで、幅広く来店促進を図っていくことが重要になると考えられます。
-----	---

## 4. 商品別売上高対前年増減率 (単位: %)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-24.2	-24.2
婦人服・洋品	-16.6	-16.3
子供服・洋品	-28.4	-28.4
呉服寝具他	-32.0	-33.9
衣料品計	-19.5	-19.5
身廻り品	1.2	0.9
雑貨	9.8	-6.6
家具	-15.5	-15.6
家電	51.1	53.2
家庭用品	-14.6	-15.0
家庭用品計	-12.0	-12.1
食料品	-0.7	-1.2
食堂・喫茶	-18.7	-19.0
サービス、その他	-15.7	-15.4
合計	-5.7	-8.5

※「2021年9月上報告」は、10/1(金)15時に開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課  
 Tel : (03)3248-8311 / Mobile : 070-4547-7555